



適合車両			コンピューター			
車種	標準(ロング)	ワイド(ロング)	標準(ロング)	ワイド(ロング)	ワイド(ロング)	
バン			3000ディーゼル 3000ディーゼル 2WD	3000ディーゼル 1KD-FTV	2WD 4WD	KDH229K
3000ディーゼル 1KD-FTV	KDH201V KDH206V	KDH211V KDH221K				
2700ガソリン 2TR-FE	2WD	TRH211K TRH216K	TRH221K TRH226K	2TR-FE	4WD	TRH223K TRH228K
2000ガソリン 1TR-FE	2WD 4WD			2700ガソリン 2TR-FE	2WD 4WD	TRH214W TRH219K TRH229W

※1.メーカーオプションでHIDライトを装着した際は、適合外になります。

RG ハイエースヘッドライト用 HIDキット 取扱い説明書 (平成24年5月作成)

HALOGEN ⇔ HID CONVERSION KIT

※このキットを、トヨタ ハイエース以外に取り付けを行わないでください。
※純正ヘッドライト以外(社外ヘッドライト)に取付けた場合、灯具が熱により
変形する恐れがあります。
純正ヘッドライト以外の取付けについては、適合外のため保証対象外にな
ります。
ご了承の程、宜しくお願い致します。

ご注意

この度は、H.I.Dシステムをお買い上げいただきましてありがとうございます。
正しく、安全にお使いいただくため、ご使用前には、本「取付要領書」をよくお読み
ください。また、本製品をご使用いただく間、必ずお手元に置いてご活用ください。



本製品の取付け、配線には専門の技術と経験が必要です。
安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

仕様

[H.I.D バルブ]

- タイプ : H4
- 消費電力 : 35W

※定格入力を確保できない車両への取付けは行わないでください。

[バラスト]

- 定格入力電圧 : DC 12v
- 定格出力電圧、電流 : 85v、35W

TMY CORPORATION

自動車用品部 T E L 0 3 - 3 6 9 6 - 0 6 2 0

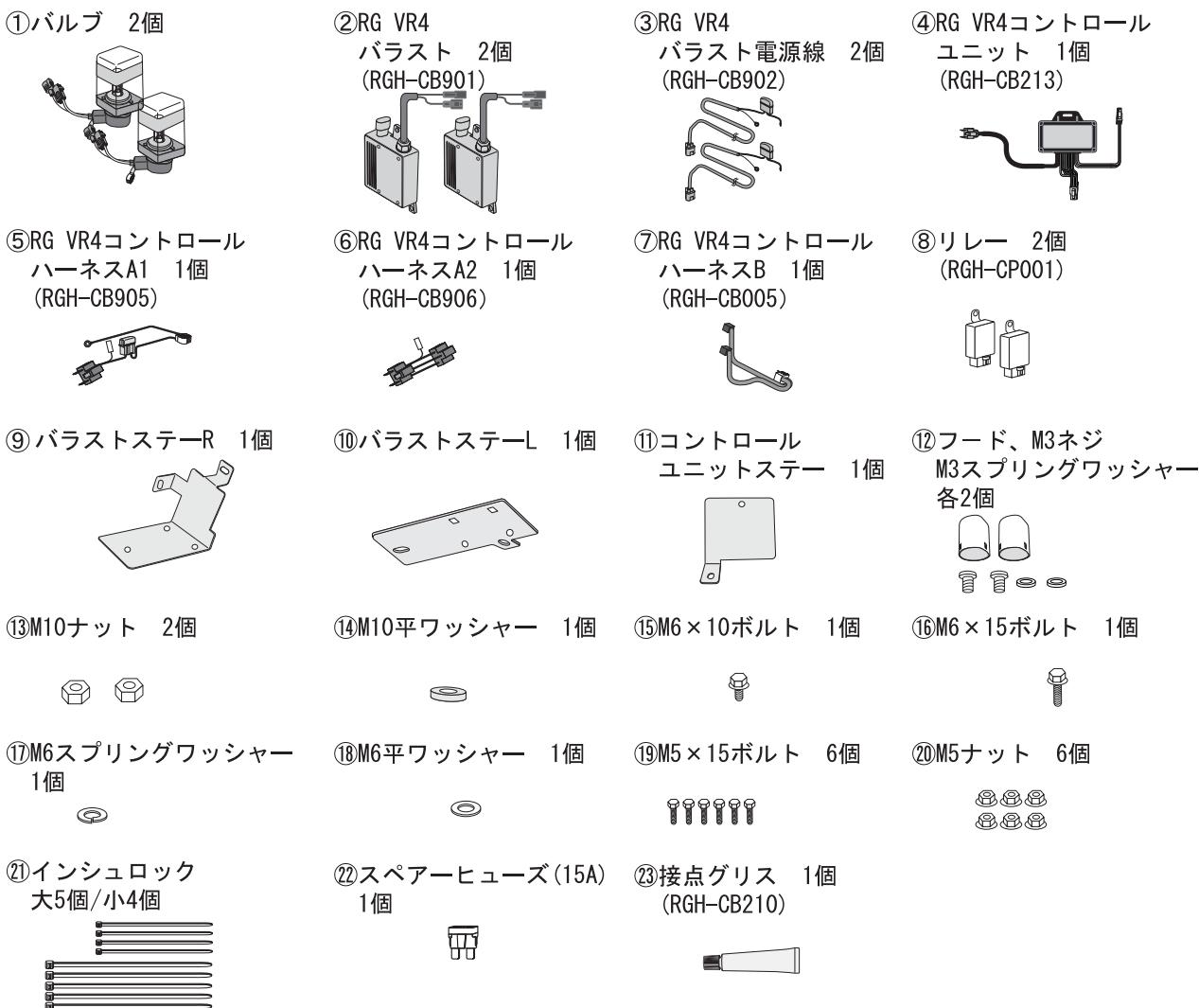
作業を行なう前に、必ず車両の電源コネクターの検電とH.I.D.バルブの点灯テストを行なって下さい。

本製品は、12V専用H.I.D.システムです。※点灯テストは、P3のH.I.D.バルブ点灯テスト要領をご参照ください。

車両側(+)、(-)の確認を行なわぬで取付けを行なうと、バラストの故障の原因となる場合があります。

構成部品

○セット部品



▲ 安全上のご注意

※ご使用になる前に必ずお読みください。

1 このH.I.Dシステムは高電圧(約2万ボルト)を発生しますので取扱い(取付け)には充分ご注意ください。

取付作業を行う前に、商品(バラスト・H.I.Dバルブ)の状態を点検してください。

※商品(バラスト・H.I.Dバルブ)に損傷がある場合や商品を落とした場合は直ちに作業を中止してください。

2 ヘッドライト点灯中や消灯直後は、手や肌などで触れたり、洗車など直接水をかけないでください。

レンズやランプボディーが熱いのでヤケドや温度差によるレンズ割れの原因となります。

※洗車やヘッドライト付近に触れる場合は、充分に冷却した後、作業をおこなってください。

3 ヘッドライトの光軸が適正位置であるかを必ずご確認ください。

このシステムは通常のハロゲンバルブより明るさが増すため、光軸が合っていないかたり、故意に光軸を上に向けたりすると事故を誘発する恐れがあります。

4 目が痛くなったり、視力障害の原因となります。

点灯中の光を間近で見つめないでください。

5 感電の恐れがありますので、バルブを接続しない状態で電源を入れないでください。

H.I.Dバルブをバラストへ接続しない状態で、ヘッドライトスイッチをオンにすると接続端子部に高電圧が発生し、感電する恐れがあります。

また、この状態でヘッドライトスイッチをオフにしても高電圧が残留し、感電する恐れがあります。

使用上の注意

1 停車中(信号待ちなど)の点灯/消灯は頻繁に行わないでください。

点灯/消灯をくり返すことによりバルブ内部の電極が磨耗し短寿命や不点灯など、システムがトラブルを起す原因となります。

注) ヘッドライトスイッチの点灯/消灯を短い間隔でくり返すと点灯しなくなる場合があります。

これは、バラストの安全装置が作動して起こるもので故障ではありません。

この症状がでた場合、数秒間隔を置いてから再点灯を行ってください。(バラスト内の残留電気が抜けるまで起動しません。)

2 下記症状は使用環境や状況によって発生するもので製品不良によるものではありません。

この症状はバラストの昇圧差やバラストの個体差による症状でクレームの対象外となりますので、ご理解の上ご使用ください。

1) 点灯直後や再点灯時に約10~20秒間、赤味を帯びた色や青白い色など、通常の点灯色にならないことがあります。

2) 左右のヘッドライトが同時に点灯しないことがあります。

3) 点灯時左右の照射光が異なる場合がありますが、これは商品の個体差によるものでクレームの対象外ですので、ご理解の上ご使用ください。約100時間ほどご使用していただくとバルブの色が安定してきます。

3 一部の車両に於いて球切れモニターが点灯する場合があります。

この症状は、車両側のヘッドライト電気制御系統とH.I.Dシステムの相性により発生する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

4 改造、分解等は絶対に行わないでください。

この商品は、精密な電子回路の集合体です。システムが作動中高電圧が発生しますので、バラスト・H.I.Dバルブ等は絶対に改造・分解は行わないでください。また、改造・分解・不当な修理に起因して生じた故障および損傷に於いては、製品保証の対象外となりますのでご了承ください。

取扱(取付)上の注意

◇注意事項◇

装着作業を行う際は以下の項目を必ずお守りください。

※以下の項目をお守りいただけずに発生したトラブルに関してはクレームとしてはお受けできませんので予めご了承ください。

◎取付作業開始前に作動確認を行ってください。バルブパッケージを未開封状態でバラストを接続し点灯確認を行ってください。
バルブパッケージ開封前に破損箇所がないか確認してください。

※バルブパッケージ開封後はクレームとしてはお受けできません。(但し、製品上のトラブルは除く)

※点灯テストは、P3のH.I.Dバルブ点灯テスト要領をご参照ください。

◎バルブに取付作業を行う前に取付部の奥行きの測定を行ってください。

※奥行きの測定方法は、ノギスなどでバルブ取付面を基準面とし、そこからシェードやレンズまでの距離を測定してください。

H.I.Dバルブにシェードを取り付けない場合の測定距離が58ミリ以上

(H.I.Dバルブにシェードを取付けた場合の長さ60ミリ参考)

であれば問題ありませんが、上記寸法以下の場合は、装着作業を中止してください。

◎H.I.Dバルブの装着はヘッドライトを取外して行ってください。

※H.I.Dバルブはとてもデリケートです。装着作業を行う際は必ずヘッドライトを車両から取外し、慎重に作業を行ってください。

◎車両のヘッドライトヒューズ容量を確認してください。

※システム起動時に電気容量が必要となりますので、車両のヘッドライトヒューズが15A未満の場合は15Aヒューズと交換を行ってください。

◎バラストの取扱いは慎重に行ってください。

※精密な電子回路の集合体です。落したり、配線を引っ張ったりしないでください。システムが作動していると高電圧が発生しておりますので装着・点検作業を行う際は必ずバッテリー端子を取り外した状態で行ってください。また、バラストは水のかかりにくいエンジンルーム内へ確実に固定してください。

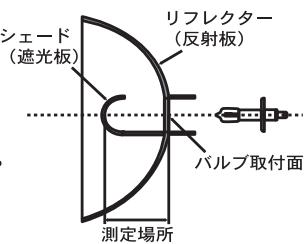
◎減光システム装着車へのお取付はできません。また、純正のオートライト機能が正常に作動しない場合があります。

※一般的な減光システムは、電圧を下げる事でヘッドライトを減光させています。

H.I.Dシステムの作動に必要な電圧は10~16ボルトの為、減光システムと併用した場合、不点灯やシステムの破損の原因となります。

◎耐久年数の過ぎているバッテリーでご使用されると、バッテリーの電圧低下によりHIDの不点灯やシステムの不具合が起こる可能性があるため、バッテリーの交換をお薦めいたします。また、電装品を多く取付け、ご使用されていると、バッテリーに負担がかかりHIDシステムが正常に作動しない場合があります。

◎本製品と電流・電圧センサー機能が搭載されている盗難警報装置を同時装着を行うと誤作動を起こす場合があります。



●おかしいな？と思ったら！！

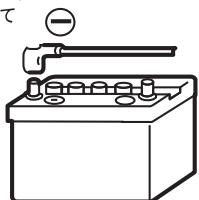
ご使用中に不点灯が発生した場合、下記手順の簡易点検を行ってください。

- 1) 速やかに車両を安全な場所へ移動してください。
- 2) ヘッドライトスイッチを消灯状態にし、数秒後再点灯を行ってください。
- 3) 上記作業を行っても症状が改善されない場合は、10~20分程度全ての照明スイッチ(ハザードは除く)を消灯させた後、再点灯を行ってください。

※上記点検を行って正常に戻ればバラストの安全回路が作動して発生する症状なので、そのままご使用されても問題はありません。もし、症状が改善されない場合やその他のトラブルが発生した場合は、最寄りの駐車設備のある場所へ車両を移動し速やかに、購入・取付けを行った販売店へご相談ください。

●必ず、バッテリーのマイナスケーブルを外す。

※ラジオのプリセットチューニングなど電装品のメモリーを控えておく。《車種によりバッテリーケーブルを取り外すと車両側の制御機能が誤作動する場合があります。詳しくは車両の取扱マニュアルをご参照ください。》



●ランプ、ホーン、ワイパー、オーディオなどの車両電装品が正常に作動するか確認する。

※取付後の修復チェックを確実に行う。

●ボルト、ナット、の締め付けには、寸法の合った工具を利用して確実に行う。

※締め付けトルクの指示がある部位は規定トルクで締め付ける。

●車両のコネクターを外す際はリード線を引っ張らず、コネクター本体を持ってロックを外すこと。

※ハーネス断線を防止する。

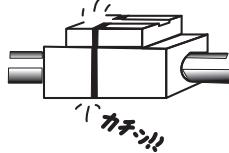


●部品の取付けや、外したフィニッシャー類を取り付ける際は、裏側のハーネスをひっかけたり込み込んだりしないこと。

※ハーネス断線を防止する。

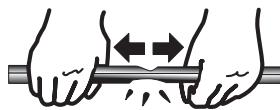
●コネクターやターミナル端子は、確実に接続の事。

※接続不良を防止する。



●車両のワイヤーリングハーネスを強く引っ張らないこと。

※コネクター外れや断線を防ぐ。



●ハーネス（配線）配索の際は車両のワイヤリングハーネスに沿ってまとめたり、クランプを使用して固定しぶらぶらさせない。

※イグナイタ、バルブ間の配線を絶対に結束しないでください。



●ハーネス配索後、修復前に取り付けた部品の作動チェックを行うこと。

※誤配線の防止。

H.I.Dバルブ点灯テスト要領

※開封前に必ず実施してください。

このシステムは、出荷前に振動/点灯試験を行なっておりますが、装着作業を行なう前に必ず点灯テストを行なった後に、バルブを開封し作業を行なってください。

《点灯テスト手順》

- ①P4の「HIDバルブ点灯テスト要領」に従ってバルブを開封前にバルブ、バラスト電源線、バラストの配線をそれぞれ接続してください。この時には、バルブを開封せずにテストを行なってください。
- ②接続終了後、バラスト電源線の赤線とバッテリーのプラス端子に接続してください。
次に、バラスト電源線の黒線をバッテリーのマイナス端子に接続してください。
- ③点灯、作動に問題がなければ点灯テストは終了となります。

《ご注意》

- ◎バッテリーへ接続する際、プラス(+)マイナス(-)を絶対に間違えないでください。
- ◎点灯テストは、1分以内で行ってください。
- ◎装着前のテストを怠りケースの封印を開封した場合、及び作業中に発生した破損等はクレームの対象外となりますのでご了承ください。
- ◎破損や作動不良の原因となりますので、バラストケースにバッテリーのプラス電位が触れないようにご注意ください。
- ◎点灯テストの際、バーナー先端をアース部(車両シャーシ、バッテリーマイナス)に近付けた状態で点灯を行ないますとバラストの故障の原因となります。

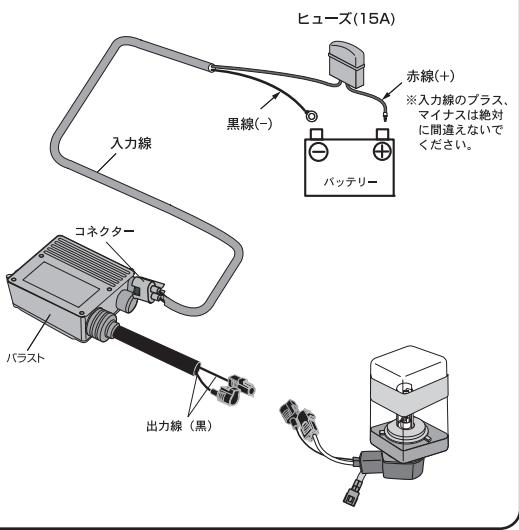
点灯テスト時、取付けにバラスト及び、バーナー先端をそれぞれプラス電位、アース部に接触、近づけたことによるバラストの地絡(ショート)故障にご注意ください。

上記、要因による故障は、保証対象となりませんのでご注意願います。

⚠ 取付(システム)概要・接続構成図

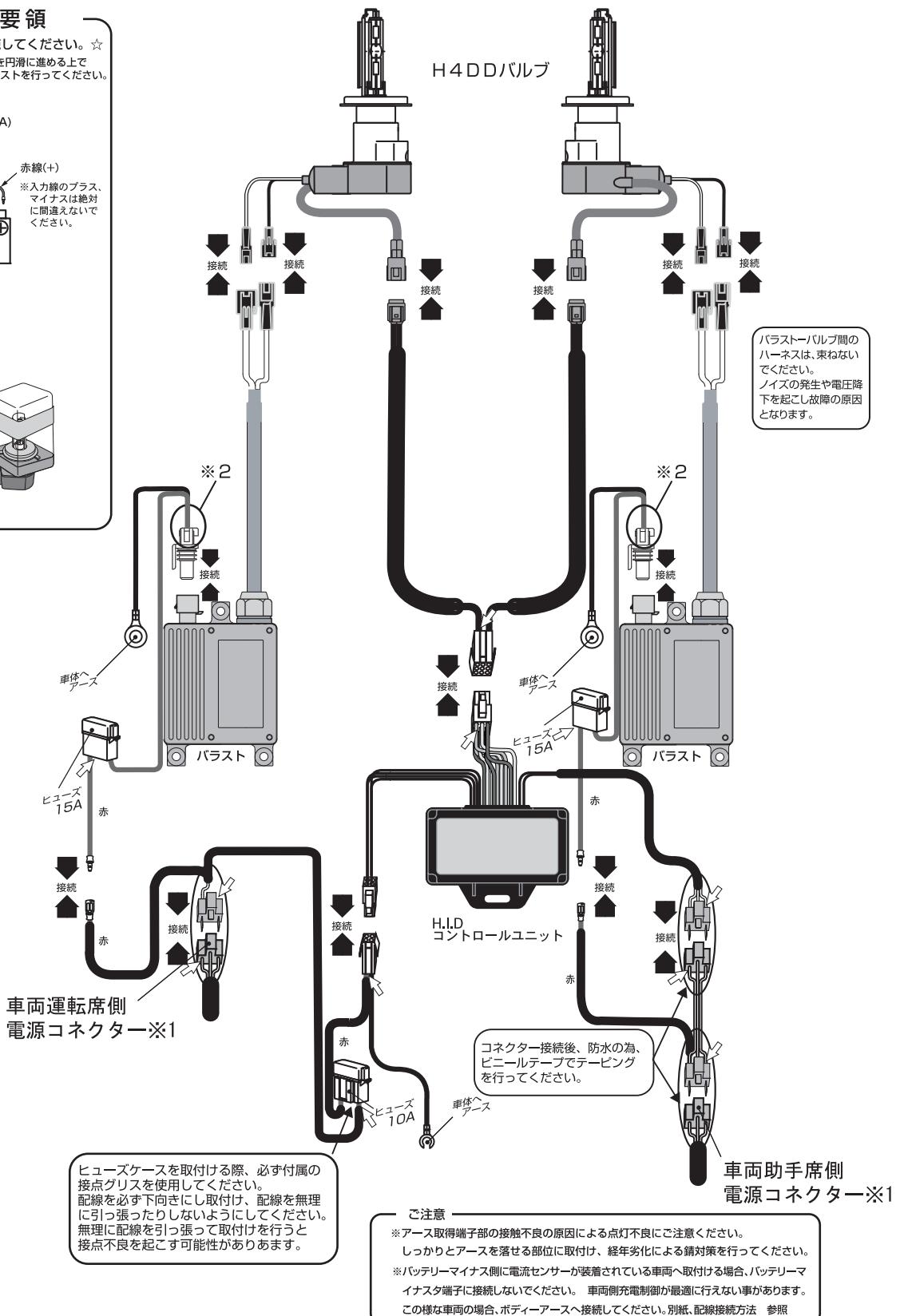
H I D バルブ点灯テスト要領

☆H I Dバルブの点灯テストはケース開封前に必ず実施してください。☆
当商品は出荷前に振動/点灯試験を実施しておりますが、装着作業を円滑に進める上で
取付作業前に、下記点灯テスト要領をご参照の上、必ず点灯確認テストを行ってください。



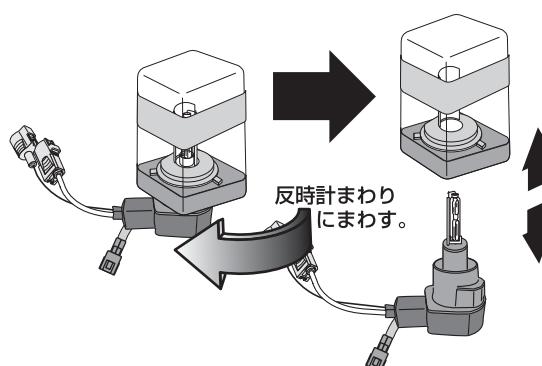
※1
車両側電源コネクターとコントロール側コネクターを接続した際、若干隙間が開くコネクターがあります。これは、製品不良ではありません。

※2
防水コネクターの配線を無理に引っ張ったり、コネクター根元から折り曲げないでください。
上記のようなことを行うと、防水コネクターの機能低下になります。



【バルブケースからの取外し方法】

- ①バルブケースを片手で持ち、もう一方の手でバルブベースを反時計方向にまわしてください。
- ②バルブベースをバルブケースからゆっくり引き出し、バルブフランジとバルブベースを分離してください。



《取付手順》

1. 車両部品取り外し

車両サービスマニュアルを参照の上、グリル、ヘッドライトを取り外してください。
※注意 必要により、バンパーを外す必要がある場合があります。

2.H.I.D.バルブ取付け

P6の取付け手順をご参考の上、ランプユニットへH.I.D.バルブ(H4DD)を取付けてください。



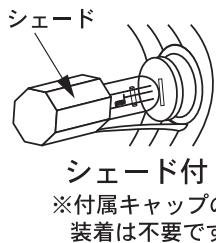
アドバイス

※バルブ取付の際は破損等に充分ご注意の上、作業を行ってください。

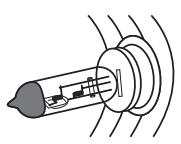


◇ヘッドライトにシェードが無い車両へ装着する場合

ヘッドライトにシェードが無い車両へ装着すると、車種によっては散光(光の飛び散り)が多くなる場合があります。この様な車両へはセットに付属のキャップをH.I.D.バルブのシェードに取り付けてご使用ください。

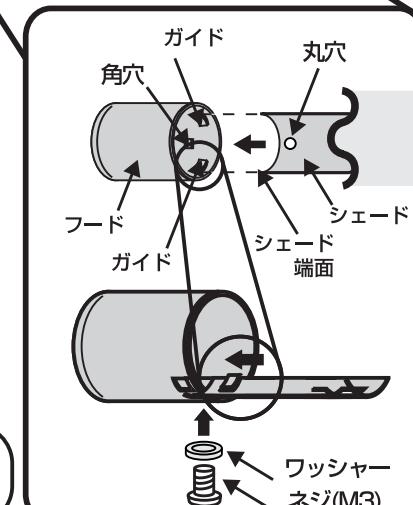
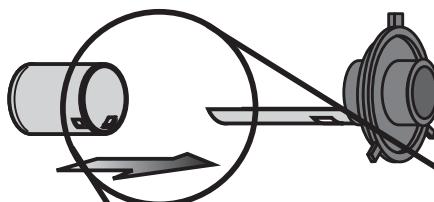
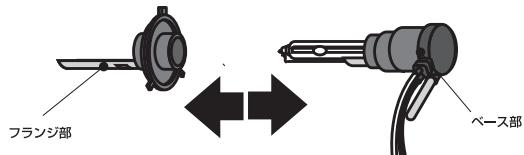


シェード付
※付属キャップの
装着は不要です。



シェード無
※付属キャップの
装着が必要です。

〈〈〈 H4DDシェード組付け手順 〉〉〉



〈〈〈 組付け手順 〉〉〉

《作業を始める前に》

H4DDバルブ装着手順に従いフード部とベース部を切離してからシェードの取付け作業をおこなってください。

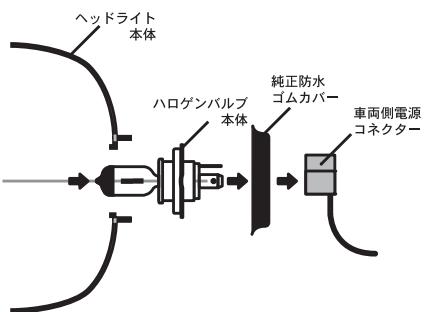
- ① シェードの端面をフードのガイドに添わせながらシェードにフードをセットしてください。
- ② シェードの丸穴とフードの角穴の位置を合わせ、付属のネジ(M3)とワッシャーでシェードとフードを固定してください。
- ③ 最後にシェードとフードが確実に固定されているかをご確認いただき固定されていれば取付け作業は終了となります。

ご注意

- シェードとフードの固定ネジは締め過ぎないよう十分ご注意ください。
- 追加フードの有無をご確認の上、装着作業を行ってください。

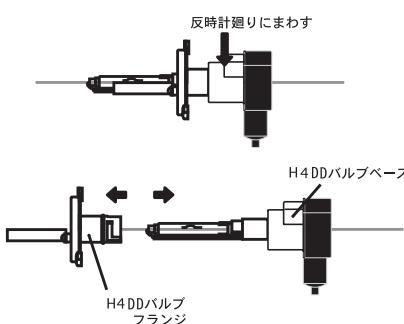
H4DDバルブ装着手順

【ハロゲンバルブ脱着】



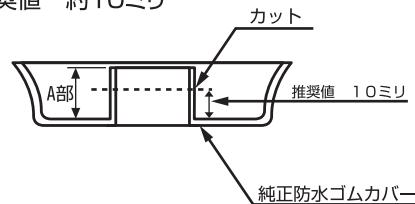
- ① 純正のハロゲンバルブをヘッドライトから取外してください。

【H4DDの分解】

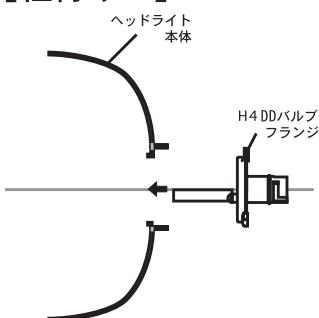


ご注意

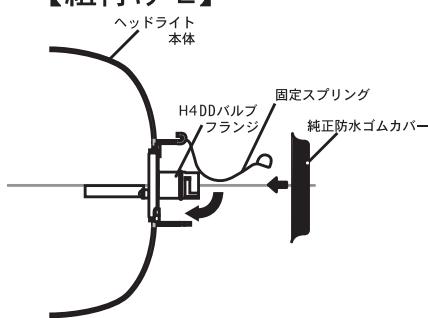
純正防水ゴムカバーA部が長くバルブが正常に固定できない場合、純正防水ゴムカバーA部をカットして下さい。
カットする際、車両により長さが異なるので5ミリ程度からカットしてください。
推奨値 約10ミリ



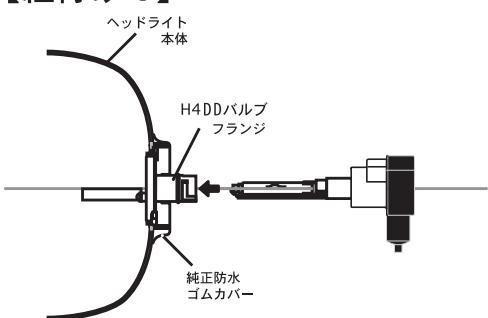
【組付け 1】



【組付け 2】

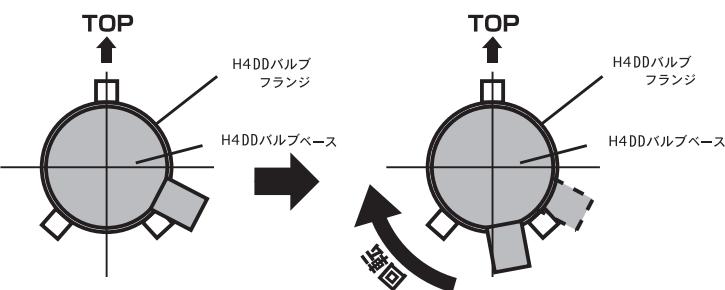


【組付け 3】



- ③ H4DDバルブのフランジ部をヘッドライトに取付けます。取付け・固定方法はハロゲンバルブと同様の方法で固定をおこなってください。

※純正防水ゴムカバーを取付ける際、H4DDバルブフランジに付いているOリングを外してから取付けると取付けが楽に行えます。外したOリングは必ずバルブフランジに取付けてください。



バルブベース挿入時

※フランジ部へベース部を挿入する際、H.I.D発光部を破損しない様、充分ご注意ください。

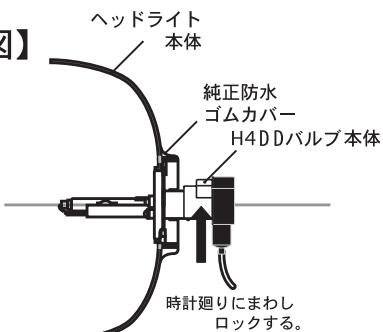
バルブベース固定時

- ④ ヘッドライトに取付けたH4DDバルブのフランジ部へベース部を挿入後、時計回りに回転させ、フランジ部とベース部をロックしてください。

注:フランジ部へベース部を挿入時、ベース部に記載している白い矢印とフランジの矢印を合わせて挿入すると上手くはまります。その際、ベース部はしっかりと奥まで差し込んだのを確認後、時計回りに回転させロックを行ってください。

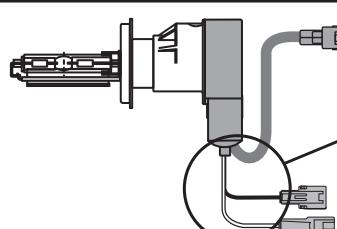
正規の取付けとは逆に作業を行うと、バルブの破損及びハイローライト切替に支障をきたす可能性があります。

【完成図】



ご注意

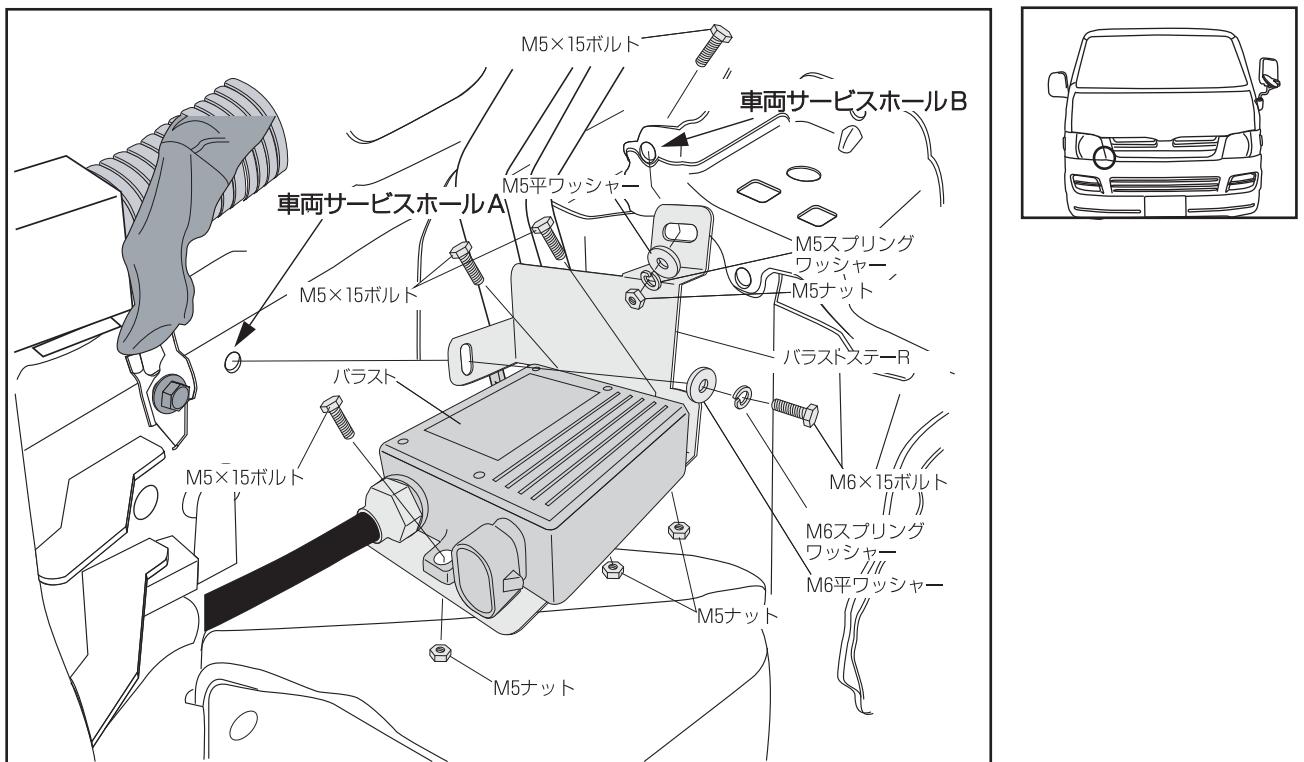
バルブから2本出ているイグナイタへと接続される配線はバルブスライド機構の部品に直結しているため、少しでも引張ったり、押したりするとHi/Low切替が行えない場合がありますので、配線へのテンションをないように取付けてください。別紙参照



この部分を引っ張るとHi/Low切替の動作が悪くなります。

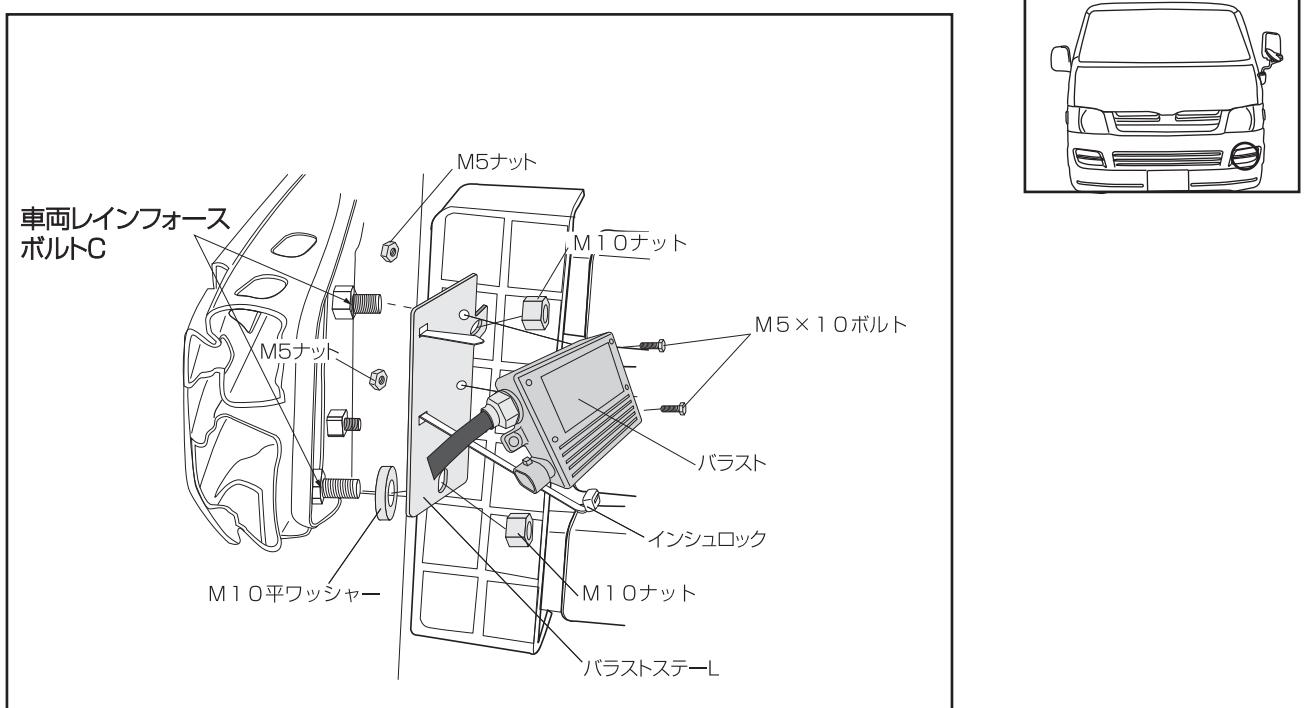
3. 運転席側

バラストステーRに付属のM5×15ボルト、M5ナットを使い、バラストを固定してください。
バラストステーRを車両サービスホールA、Bを使い、付属のM5×15、M5スプリングワッシャー、
M5平ワッシャー、M5ナット、M6×15ボルト、M6スプリングワッシャー、M6平ワッシャーを使い
車両にステーを固定してください。



4. 助手席側

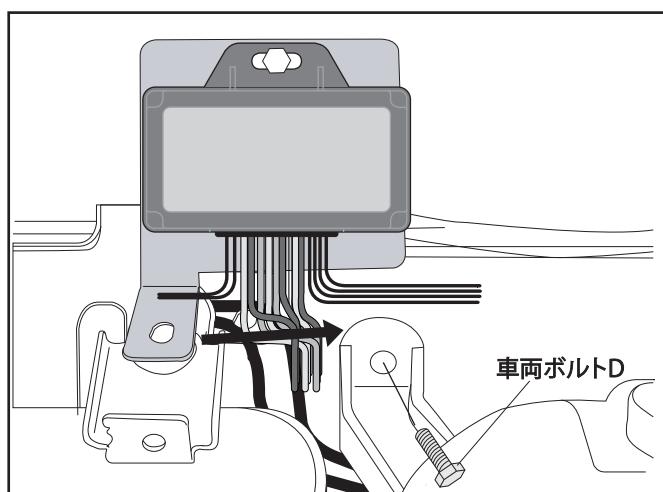
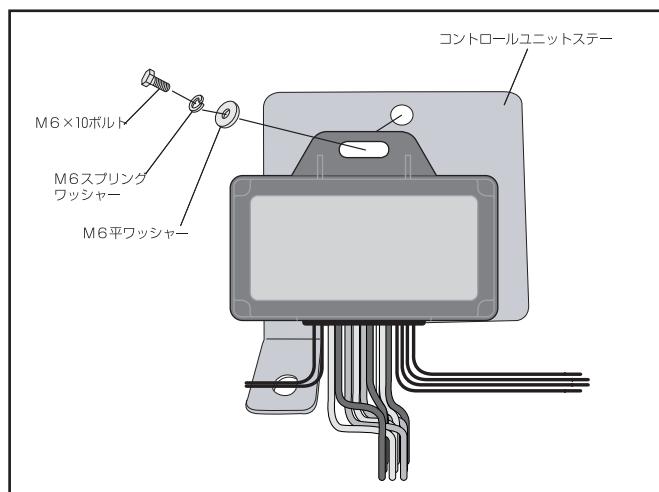
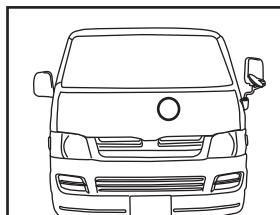
バラストステーLにバラストを付属のM5×15ボルト、M5ナット、インシュロックを使い、固定してください。
ステーに固定出来ましたら、車両レインフォースボルトCを使い、付属のM10ナット、M10平ワッシャーで
固定してください。



4.コントロールユニット

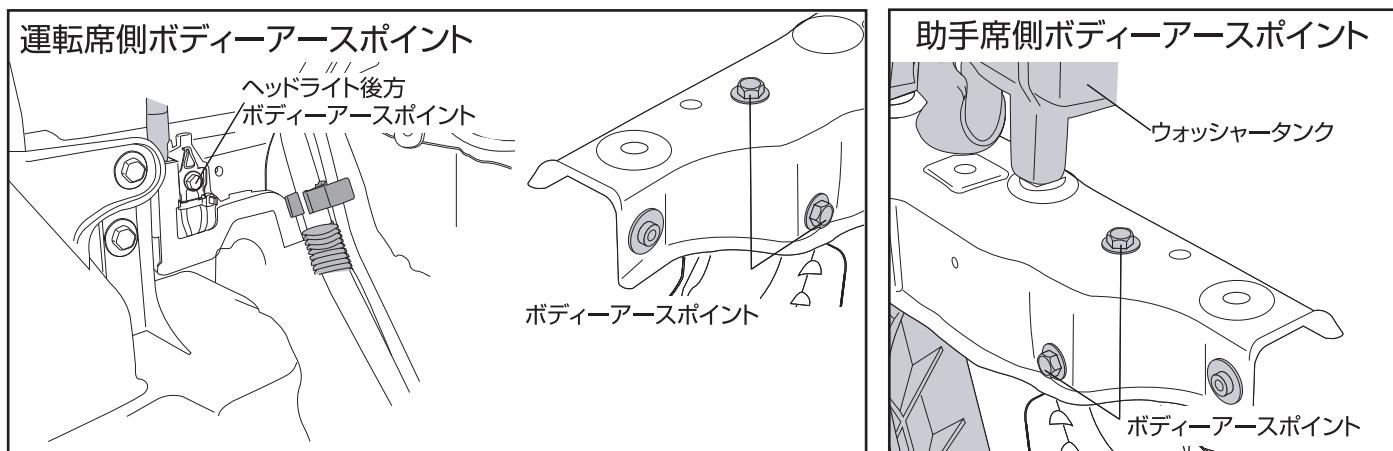
コントロールユニットを取付ける際は、コントロールユニットステーに付属のM6×10ボルト、M6スプリングワッシャー、M6平ワッシャーを使い、コントロールユニットを固定してください。(※コントロールユニット側にねじ山を切ってあります。)

コントロールユニットが固定出来ましたら、クーラントタンクを固定している車両ボルトDを使い、ステーをウォッシャータンク樹脂とボディーの間にはさみ固定してください。



5.配線方法

- 1) HIDシステム配線方法は、P4取付(システム)概要接続構成図をご参照の上、作業を行なってください。
- 2) 運転席側にコントロールハーネスA1を車両コネクターと接続し、バラスト電源線と接続します。
ボディーアースへ接続する際、テスターを使い、通電確認を行ない、アースへ接続してください。
ヒューズ、配線はインシュロックでまとめ、ウォッシャータンク裏の車両配線と固定してください。
- 3) 助手席側にコントロールハーネスA2を車両コネクターと接続し、コントロールユニットとバラスト電源線と接続します。
ボディーアースへ接続する際、テスターを使い、通電確認を行ない、アースへ接続してください。
ヒューズ、配線はインシュロックでまとめ、車両閉栓と固定してください。固定してください。
- 4) コントロールハーネスBを、P4取付(システム)概要接続構成図をご参照の上、コントロールユニット、バルブへ接続してください。
- 5) 全ての作業が終わりましたら、余った配線を付属のインシュロックを使い、束ね取外した部品を元に戻してください。最後に、光軸調整を行なってください。



*車両により、ボディーアースが通電しにくい車両があります。

接続の際は、テスター等で、通電確認を行なってください。

トラブルシューティング

【H4DD】

◎全く点灯しない

ヘッドランプスイッチはONになっていますか？

NO

各コネクターは確実に接続されていますか？

NO

アースは確実に接続されていますか？

NO

ヒューズは切れていませんか？

NO

ヘッドランプスイッチをONにしてください。

コネクターを確実に接続してください。

アース端子を確実に接続してください。

新品の15A ヒューズと交換してください。

H.I.Dシステムに異常が発生しているので取付を行った販売店（発売元）で点検をお受けください。

◎片側が点灯しない

各コネクターは確実に接続されていますか？

NO

アースは確実に接続されていますか？

NO

点灯するライト側のバラストを点灯しない側
へ付け替えてください。

NO

コネクターを確実に接続してください。

アース端子を確実に接続してください。

バラストにトラブルが発生しています。
(販売店にて点検を受けてください。)

片側のH.I.Dシステムに異常が発生しているので取付を行った販売店（発売元）で点検をお受けください。

【H4DDコントロールシステム】

◎切り替わらない

ヘッドランプスイッチはONになっていますか？

NO

各コネクターは確実に接続されていますか？

NO

アースは確実に接続されていますか？

NO

ヘッドランプスイッチをONにしてください。

コネクターを確実に接続してください。

アース端子を確実に接続してください。

H.I.Dシステムに異常が発生しているので取付を行った販売店（発売元）で点検をお受けください。